

みちこだより

(日本共産党・笠岡市議会議員 ひのつ倫子)
自宅〒714-0055笠岡市生江浜965 Tel&Fax66-1738

2015年4月発行 No.57

日本共産党笠岡市議団発行
〒714-0081 笠岡市笠岡5945-12
Tel63-6001 Fax63-4164
携帯090-2862-4775



東日本大震災、福島原発事故の収束も復興も程遠い中、安倍政権は、原発の再稼働、集団的自衛権の行使容認、辺野古基地建設の強引な押し付けなど、国民の声を聴かずファッション的な政治を進めています。国民の願いやその声が生きる政治への転換を求め、市行政には特に子どもたちへの温かい対応を求めて質問しました。

子どもたちに安心の未来と、 心の通う市政を求めて



生活保護費の連続の大幅削減、物価の高騰、実質賃金の減少、非正規雇用の拡大、消費税の値上げ等々、国民には負担増で、暮らし破壊につながります。

子どもや若者たちの実態は、子供の貧困率が過去最悪の16.3%になったことを見ても知ることができます。不登校、就職難、不安定雇用、家庭環境によって進学を諦めたり、成年になっても引きこもったりなどの困難を抱える子どもや若者が増えています。

子どもたちに安心の未来と心の通う市政を求めて、その実態把握と、昨年成立した子どもの貧困対策法、

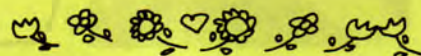
平成21年成

立の子ども・若者育成

支援法をもとにした取り組みを求めました

これに対して市長は、当市・県の貧困率については不明（国が標本調査をおこなったため）。支援法への対策については、協議会は設置していないが、それぞれの関係部署の連携で対応していると答弁しました。

しかし、過去5年間で600人も生徒が減少しているのに、要保護児童の数は逆に増えている状況を見ても、早急な実態調査と効果的な対応が必要であるとの共通理解に立ちました。



子どもたちに行き届いた教育をすすめるため

政府は、公立小・中学校の統廃合を促進させ、教育予算の大幅な削減をめざしています。小・中学校の統廃合は、子どもたちに遠距離通学を強い、安全問題、学習や健康への影響、生徒会活動など、放課後の子どもの遊びや自主的な取り組みが制約されるなど、様々な弊害が考えられます。地域との今後の話し合いがどうなっているのか、何を言っても駄目だという話し方になっていないかたずねました。

これに対し教育長は、全地区の説明会は、日程の調整中である。子どもや保護者が不安や問題を抱えているから協議を進める。子どもたちの社会性や規範意識は一定の規模の中で育つという観点で話を進めていると答弁しました。私は、学校の統廃合について国は存続についても示していること、住民の納得のいく接点をつくりだすこと、子供たちの声に耳を傾けることが大切だと述べ、決して強行すべきでないことを強調しました。



また政府は、学習指導要領を改訂して小・中学校の道徳を道徳科にしようとしています。そして検定を通していない道徳の本を、すでに全国に送っています。しかもこの本の中には人権、平等、生存権、平和、労働の権利、自由、自治など、憲法的な価値が全く排除されています。

こうして国の都合の良い観点だけを押しつけることになれば重大な問題です。心のありようについての教育というのは教科としてなじまず、教科書は何よりも教育基本法や憲法に則した内容でなければなりません。教育長の見解を尋ねました。

これに対し教育長は、確かに数値による評価はなじまないが、他教科と違う評価の位置づけで設定すると答弁しました。私は、今後も市民的な議論を続けていきたいと思えます。



一般会計・国保予算・介護保険予算に反対しました

マイナンバー制度（全ての個人情報をも、1人1人に番号をつけることで一括管理する）に7000万円の予算、高すぎる国保税の問題放置、介護保険料を平均5550円、11%以上もの引き上げで、市民に負担を強いるなどの理由で、一般会計・国保会計・介護保険会計に限り、来年度予算案に反対しました。賛成多数で可決されています。

あしあと

1月

5日 空手桃太郎杯応援（岡山桃太郎アリーナ）

『懐かしい元職場の仲間や卒業生に
会うのがとても楽しみです。』

11日 初出式・成人式

18日 ミニ同窓会（徳島）



20日 「なくそう核兵器」署名進める会議

23日 大平衆議院議員、鳥インフルエンザの現場
を激励、訪問

27日 市長と懇談

30日 農協婦人部で味噌作り。半年後の開封が
楽しみです。とても良い匂いがしています。

31日—2月2日 国際交流協会

韓国語講座でソウルへ研修に



2月

8日 周明7回忌

19日 金浦小学校

生涯学習フェスティバル 3年生の授業に参加

15日 おしぐらんご会議

『昔の暮らし』

16日 西部衛生組合会議

で火をおこし、

署名進める会議

シシャモとおもちを焼いて食べました。



17日 西南水道組合会議

22日 「なくそう核兵器」署名をすすめる交流集会（サンライフで）約30名の集まりで、土屋圭司先生のお話などあり、平和の大切さについて、体験談から再認識し、署名運動を進める決意を新たにしました。



25日 対市要望活動

26日—3月24日 3月議会



27日 おしぐらんご会議

28日 3.1ビキニデー集会に参加（焼津市）

3月

8日 木山捷平文学賞受賞式参加

15日 おしぐらんご会議

17日 金浦中学校卒業式（ご挨拶させて頂き

ました）

18日 金浦幼稚園卒業式（ご挨拶させて頂きました）

19日 金浦小学校卒業式（ご挨拶させて頂きました）

21日 菜の花フェスティバル

NPT会議

27日 おしぐらんご会議

29日 陶山地区第2回地元説明会

「統合は地域の存続に逆行している」「政府も存続の選択肢ありと言ってる」「他市の例のように小規模の良さを生かし工夫できないのか」



トピックス などの声が上がっていました。

我が家に2回ほどホームステイした韓国留学生が、日本での就職のため再来日しました。廃棄処分寸前のパソコンを直してくれました。機械音痴の私には神技に思えます。